

ひろめるゾウ NEWS

平成25年7月19日

菊陽町立武蔵ヶ丘北小学校 研究部 ひろめるゾウ班

本校の「歯と口の健康」についての取り組みを、家庭にもひろめるために、定期的に発行していきたいと思います。ご愛読ください！



「治癒率！あげるぞ 武北から」

歯と口の健康教育の取り組みが、いよいよ始まりました。先日10日(水)に本校の学校歯科医である山口先生によるPTA歯科保健講演会がありました。

講話の中に「歯垢とはなんでしょう。」という問題が出ました。「歯の汚れ」と答えた方もいらっしゃいましたが、実は、なんと答えは「バイ菌のかたまり」です。爪楊枝の先についた小さな歯垢のかたまりには、なんと1億のバイ菌がいる

のです。実際の映像も見せていただきましたが、ぎょっとするほどいました。歯ブラシによる歯みがきだけでは歯垢の70%しか落ちないそうです。歯ブラシのほかの道具の紹介やうがいの仕方など勉強になることがたくさんありました。

実際この取り組みが始まって、私(島田)も歯が気になり始め、鏡を見ながら、「あっ！むし歯、1本2本、あ～ら3本」と見つけてしました。

せっかくの機会ですから、子どもたちの取り組みだけにしておくのはもったいないと思いませんか。親子で取り組むことで、歯だけではなく体の健康づくりにつながっていきます。例えば子どもたちの夢の中にスポーツ選手をめざす子が多いのですが、プロ選手になるには、歯の健康を考えて生活しないといけないと言われています。

お子さんの健やかな成長のためにも一緒に取り組んでいきましょう。

ここで今学期の取り組みを紹介します。

2年2組「ぴかりん歯みがき大作戦」(5月31日)

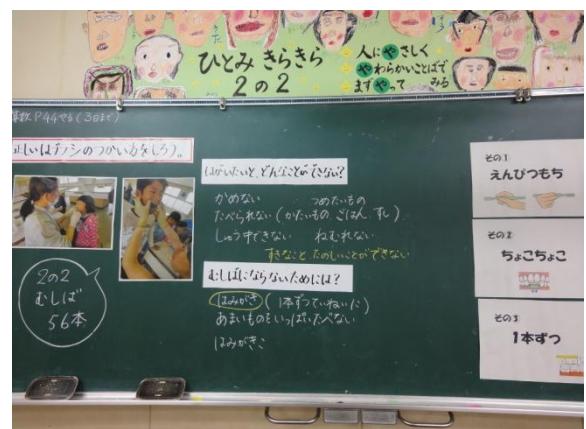
学級全体のむし歯の本数 58本。驚く子どもたち！ 一人2本ずつむし歯を持っていることになる…ここで立ち上がった清永先生！

子どもたちは、丁寧に歯みがきした後の歯ブラシを透明コップで洗い、白く濁ったことで歯の汚れを実感しました。また、歯垢を実際に映像で見ました。「いやだ～」「気持ち悪い」強烈な印象を残したのでした。

歯ブラシの使い方のポイントは3つ。

「えんぴつ持ち」「ちょこちょこ磨き」「1本ずつみがき」

夏休み中も、家族でぜひ実践してみましょう！





1年2組「6ちゃん王子をみがこう」(7月2日)

1年生は歯の生えかわりが多く、特に6歳臼歯(前から6番目の奥歯)という大切な歯が生えてきます。

そこで、吉里先生は「歯みがきの大切さ」を考えさせるために、ココアクッキーを用意。子どもたちは「おいしい!」と30回噛んだ後、鏡で奥歯(6歳臼歯)につまつたクッキーを見て「うわあ～真っ黒…」「こんなにつまるんだ…」と驚いていました。

そして、奥歯をみがく時には、歯ブラシを横から入れる「えっへんみがき」(王様のようにいはつて手を腰にあててするので!)をすればいいと学習しました。

4年2組「自分に合った歯のみがき方を考えよう」(7月3日)

4年生は、6月25日(火)に歯科衛生士さんの指導の下、歯のみがき方指導がありました。歯科衛生士さんから、「どんなみがき方をしたらいいか。」と尋ねられると、なんと「えんぴつ持ち」「ちょこちょこみがき」「1本ずつみがき」という3つのポイントを答えることが出来ました。さすがです!

その続きとして、尾ノ上先生は「歯の染め出しをして、みがきにくかったところの歯をどんなみがき方をしたらいいか。」という問題を投げかけました。子どもたちはそのみがき方に技名を付け、みんなに紹介しました。

「えんぴつみがきゴー」「つま先ビーム」など、ユーモアたっぷりの技名がたくさん! どんなみがき方なのか、みなさんも想像してくださいね。



6年1組「みがき残しをなくそう」(7月3日)

6年生は永久歯が完成し始める時期なので「生涯使い続ける歯や歯肉を大切にすること」そのためには「丁寧な歯みがきの必要性を意識すること」をポイントに、小崎先生は授業をしました。

「予想と違う!」「ほとんど赤い!」やってみることで実感することがたくさんあるのですね。

ここにみがき残しが
あったんだよなあ。

1学期の取り組みの一部を紹介しましたが、本校の実態として、地区懇談会資料にありましたように「治療率が低い」という課題があります。子どもたちも、様々な取り組みを通して少しずつ「歯や口の健康」に対して意識が高まっているのではないかと思います。(そう願いたい…)
「治療が必要」のピンク色の紙(●がついています)がまだ家庭にあるところは、ぜひ歯医者さんへ行きましょう。

長い夏休みです。ぜひ「家族で歯みがき!」を合言葉に、楽しみながら取り組むことができたらいいですね。